

**第 4 回草津市総合計画審議会における  
主な意見とその対応について**

○は審議会での意見・対応  
→は審議会後の事務局対応

頁	主な意見	対応
<b>【(1) 将来ビジョンについて】</b>		
-	「人と“つながる”ことで、心も体も健康となり」のイメージが湧かないがどのような考えか。	○人と人がつながることで、コミュニケーションや活動が生まれ、心や体が健康になっていくさまを表しています。
-	“つながり”によってどう健康になるのかイメージが湧かないため、「居場所」や「助け合い」など具体的に記載いただきたい。	○御意見の視点は重要であると考えており、具体的には基本計画の中で記載していきたいと考えています。
-	これから草津市が何をしていくのか一目でわかるような魅力的なキャッチフレーズがあれば良い。	○将来ビジョンのキャッチフレーズについては、現在、検討中であり、御意見を参考にさせていただきます。
-	人のつながりが健康を生み出しているという視点は大切であり、今後も残していただきたい。	○人のつながりの視点を大切に、計画策定に取り組んでまいります。
-	視点3について、「結び」と「つながり」が意味合いとして被っている。また、「また」ではなく「そして」ではないか。	○検討します。 → <u>地域の魅力や資源を「結ぶ」ことで「つながり」が生まれることを表しておりますので、原案のとおりとします。</u> <u>「また」を「そして」にとの御意見についてですが、ここでは、産業振興の視点とコンパクトシティ・プラス・ネットワークの視点を並列で記載しておりますので、原案のとおりとします。</u>
-	「地域」と「まち」の使い方の違いを教えてください。	○「地域」は学区や町内会単位の地域を想定しており、「まち」は市内全域を想定しています。
-	「地域の魅力や資源を結び」の魅力や資源とは何を想定しているのか。大学・企業等の施設などハード面と地域の文化や取組などのソフト面の両面あると考えてよいか。	○御意見のとおり、ハード面とソフト面の両面を含んでいます。
-	他の自治体名で読み替えても通じるような内容であり、草津市らしさが表現できないか。	○基本計画など、具体的な取組を記載する中で草津市らしさを表現できればと考えています。
-	草津市らしさについて、本審議会のようなすべての市民がまちづくりに参画できることだと考える。「参画」を計画のどこかに記載してはどうか。	○御意見の視点については、重要な視点であると考えておりますので、まちづくりの基本理念などに「参画」の記載を検討します。
-	草津市は湖南地域の産学の拠点であり、市外に住んでいる人も集まる場所であるため、その人たちの視点も含めていただきたい。	○検討します。 → <u>御意見を踏まえ、時代のつながりの内容を修正しました。</u>

頁	主な意見	対応
【(2) 将来のまちの構造について】		
—	第5次草津市総合計画から区分けを変更しない理由について、都市構造が成熟しているという説明があったが、成熟とはどのような意味か。	○今後、人口減少局面を迎えることもあり、これまでの市街地を拡大していくまちづくりから転換し、コンパクトシティ・プラスネットワークのまちづくりを進めていることから、都市構造としては成熟していると考えています。
P27 P28	総合計画の将来のまちの構造に書くからには、市は平野南笠線を開通させる意思があるという表明で良いか。	○毎年、県に対して平野南笠線の早期整備の要望を行っております。引き続き、総合計画において平野南笠線を位置付け、早期開通を目指した取組を進めてまいります。
P27 P28	「ひがし環状軸」が栗東市にもかかっているが問題ないのか。また、市外を含めるのであれば、例えば大江霊仙寺線の先線を烏丸半島に繋がる軸に設定しても良いのではないか。	○栗東市にかかっている「下笠下砥山線」については、都市計画決定されている道路でもあることから、市の総合計画や都市マスにおいても交通の軸として位置づけています。また、大江霊仙寺線の先線の軸への設定については、検討します。 → <u>烏丸半島への交通軸については、過去、烏丸半島が琵琶湖リゾートネックレス構想の重点整備地区として位置づけられた際、そのアクセス道路として、下笠下物線等が都市計画決定された経緯がありますので、このような設定にしております。</u>
P27 P28	下笠下砥山線の砥は戸が正しい地名ではないか。	○都市計画道路の名称として現行のとおりで決定されています。
P27 P28	観光レクリエーション拠点とにぎわい拠点を結ぶ軸など、市全体で戦略的な記載はできないか。また、観光レクリエーション拠点として帰帆島は設定できないか。	○検討します。 → <u>戦略的な軸設定とするため、3つの「環状軸」について、「相互に接続することにより、各まちのゾーン・拠点間を効果的に結ぶとともに、まちの資源の集積と効果的な活用を図る」との記載を追記しました。</u> <u>また、烏丸半島の観光レクリエーション拠点については、現在、提案募集を行っている民間活力による観光レクリエーション施設の整備事業を想定し、観光レクリエーション拠点という名称にしていますので、原案のとおりとしますが、帰帆島についても、有効な資源ですので、御意見を参考にさせていただきます。</u>

頁	主な意見	対応
P26 P28	共生ゾーンについて、農業や水産業が行われている地域であるという視点は加えられないか。	○検討します。 →「共生ゾーン」を「湖岸・農業・再生ゾーン」に変更しました。
P27 P28	常盤には文化財が多く観光レクリエーション拠点に限らず観光について PR を行っていただきたい。	○市の歴史文化基本構想等でも文化財の「活用」の視点を重視しており、御意見のとおり、常盤には、文化財をはじめ、多くの地域資源がありますので、観光の取組をさらに進めていくことは重要であると考えています。
P26 P28	地域の立地特性や特徴を踏まえ、共生ゾーンを「湖岸・農業・再生ゾーン」、文化・交流ゾーンを「山手・産業・学術ゾーン」としてはどうか。	○検討します。 →「共生ゾーン」を「湖岸・農業・再生ゾーン」に、「丘陵・産業・交流ゾーン」に変更しました。
<b>【(3) まちづくりの基本理念について】</b>		
P29	協働の視点は重要であるが、書きぶりが堅い印象を受ける。SDG s も市行政にどのように反映されるのかわかりにくい。	○協働の書きぶりについては、検討します。また、SDG s については、第 6 次総合計画では、重要な要素として考えており、市民の方に市の取組が SDG s にどのように関係しているかをわかりやすくするため、基本計画において、分野ごとに 17 の目標のロゴを記載することを検討しております。
P29	冒頭は「協働」「SDG s」ではなく「つながり」からつなげて記載するべきではないか。	○検討します。 →冒頭に「つながり」の記載を追記しました。
P29	「SDG s」は 2030 年为目标年次であり、総合計画より計画期間が短いため、前面に押し出すには不適當ではないか。	○御意見のとおり、「SDG s」は 2030 年为目标年次であり、第 6 次総合計画の計画期間中に目標年次を迎えますが、SDG s の理念は、行政の取組と通ずるところがあり、目標年次後もその理念が大きく変わることはないと考えておりますので、原案のとおりとします。
P31	「長寿・介護」について、「認知症があっても」の主語はだれか。	○主語は、認知症を患われる本人になります。当該項目は、現在、(仮称) 認知症があっても安心なまちづくり条例の制定に向けた取組を進めていることから記載していますが、書きぶりについては検討します。 →修正しました。
P31	「健康」について、健康づくりに向けた環境づくりについての視点がないため検討いただきたい。	○検討します。 →修正しました。

頁	主な意見	対応
P29	冒頭に記載されている「協働」では市民が何をすべきか分からない。	○ここでは、協働の視点を記載しており、基本計画において、分野ごとに行政や市民の役割の記載を検討しています。
P29	協働、SDG s などの今まで通りの言葉ではなく、AI など、これからの社会変化を見据えた中で、もっと上の視点から記載ができないか。	○御意見のとおり、これからの社会変化を見据えた中で視点は重要であると考慮しており、行財政マネジメントの項目では、AI や RPA 等の先端技術の活用についての視点を記載しています。
P31	もっと若者や将来世代への投資を行っていく必要があるのではないか。	○御意見のとおり、若者や将来世代への投資は重要であると考慮しており、現在の総合計画においても、草津市のまちづくりを先導・けん引するリーディング・プロジェクトと位置付けています。第6次総合計画においても重要な位置付けを検討してまいります。
P31	「地域福祉」の「地域共生社会」の考え方について、すべて「丸ごと」の視点が見えない。	○検討します → <u>修正しました。</u>
P32	「コミュニティ」について、従来型コミュニティへの対価やボランティアの有償化には賛成できない。総合計画に記載すべきではない。	○検討します → <u>修正しました。</u>
P29	まちづくりの基本理念は将来ビジョンに関連させて記載すべきではないか。	○検討します。 → <u>冒頭に将来ビジョン等との関連の説明書きを追記しました。</u>
P35	「農林水産」について、優良農地の保全や整備と記載されているが、それ以外の農地についても配慮いただきたい。また、水産業等という括りに付け足されたように感じる。	○優良農地の記載については、記載方法を検討します。また、水産業等については、畜産業も想定しており、付け足しという意図では記載しておりません。 → <u>修正しました。</u>
P31	「子ども子育て・若者」について、「子どもの権利」について記載されていることは良いことだが、現行の分野名では「子ども」に対する施策が読み取れないので、分野名や記載方法を検討いただきたい。また、「『あらゆる子ども』の権利」ではなく「『子どもの権利』をあらゆる子どもに保障する」など、「子どもの権利」という言葉を大切に、強く押し出していきたい。	○検討します。 → <u>分野名を修正しました。また、「子どもの権利」を強調するため、「あらゆる」という言葉を削除しました。</u>
P29	協働の視点について、今の行政の仕事を市民と協働するだけでなく、新たな取組について、ゼロベースから行政と市民が協働して取り組んでいくという視点も重要ではないか。今後、基本計画ではより具体的な	○御意見の視点は重要であると考えておりますので、今後、基本計画などに取り組むにあたって、御意見を参考にさせていただきます。

頁	主な意見	対応
	内容を記載されると思うので、検討いただきたい。	
P29	「人権」「男女共同参画」が「学び・文化（検討中）」の括りの中に含まれている理由は何か。	○これまでの総合計画における分野分けもこのようになっており、ひとに焦点をあてた分野を並べています。
ー	引きこもりや生きづらさを感じている方へのフォローはどのようにすることを考えているか。	○御意見の視点は重要であると考えておりますので、今後、具体的な取組を記載する基本計画において検討してまいります。
P29	草津市にとって観光は大切な産業であり、「商工」「観光」と分けてはどうか。また、働く場の確保、職住近接について記載いただきたい。	○観光は産業振興とは切り離せないものと考えておりますが、「観光」は大切な要素ですので、「観光」の視点がより伝わる記載を検討します。また、働く場の確保等についての御意見の記載についても併せて検討します。 → <u>修正しました。</u>
P19 P36	行財政マネジメントやP19の「自立した自治体経営に向けて」の中にAIやRPAの活用にあたって、行政の効率化の視点しか含まれていないが、市民サービスの向上の視点も含めていただきたい。	○検討します → <u>修正しました。</u>
P29	将来ビジョン、まちづくりの基本理念、基本計画がそれぞれどのような位置付けで、どう関連するのか説明書きを追記いただきたい。	○検討します。 → <u>冒頭に説明書きを追記しました。</u>